

## 文献調査報告書作成に向けた有識者の方々からいただいたご意見 議事要旨

### (1) 実施目的

文献調査報告書に対する品質及び信頼性の向上や、透明性確保の観点から、幅広く有識者の方々に意見を聴くこと。

### (2) 議事内容

要件ごとの個別の議事要旨は以下のとおり。

最終処分法に定められた要件他	実施日	ご意見を伺った有識者名(敬称略)所属	ご意見伺いの内容 ①収集した文献・データに不足がないか ②収集した文献・データから抽出・整理した情報は妥当か ③収集・整理した情報の理解が学術的に正しいか
「地震」及び「活断層」	2022年 7月29日 8月10日 10月12日	上田 圭一 電力中央研究所 サステナブルシステム 研究本部 首席研究員	①について：概ね妥当。 ②について： ・断層の活動性の評価において、各文献断層について既実施の調査内容を整理して使用することは妥当。 ・各断層の確実度の情報、文献断層の区分などを整理する必要がある。 ご指摘の点是对応済み。(機構) ・黒松内低地断層帯は長大断層であるが、個別断層ごとに地表付近の変位・変形の様式が異なることをふまえて、個別断層ごとに情報を抽出・整理していることは概ね妥当。 ③について： ・リニアメント・変動地形の分類については、JEAG(4601-2015)を参考とすることは概ね妥当。
「噴火」	2022年 7月15日 10月13日	梅田 浩司 弘前大学大学院 理工学研究科 教授	①について：概ね妥当。 ②について：概ね妥当。 ③について： ・地下水の酸素・水素同位体比は、火山ガスの混入以外の要因によっても変化することに留意が必要。 ・泉温や地温勾配については、地下浅部の状況を示した情報であることに留意が必要であり、地下深部の熱的構造を把握するためには、キュリー点深度や地殻熱流量が重要である。 ご指摘の点是对応済み。(機構)
「隆起・侵食」	2022年 7月22日 8月9日	幡谷 竜太 電力中央研究所 サステナブルシステム 研究本部 研究部門長	①について：概ね妥当ではあるが、広域テクトニクスについては、地体構造区分に係る文献、第四紀の地殻変動量については、第四紀地殻変動研究グループによる文献や第四系の地層を記載した文献にも目を向けるとよい。 ご指摘の点是对応済み。(機構) ②について：概ね妥当。 ③について：概ね妥当。

最終処分法に定められた要件他	実施日	ご意見を伺った有識者名(敬称略)所属	ご意見伺いの内容 ①収集した文献・データに不足がないか ②収集した文献・データから抽出・整理した情報は妥当か ③収集・整理した情報の理解が学術的に正しいか
「鉱物資源」	2022年 7月21日	笹尾 英嗣  日本原子力研究開発機構 東濃地科学センター 地層科学研究部 部長	①について：概ね妥当ではあるが、古い地形図により鉱山位置の記載の有無を確認する。 ご指摘の点是对応済み。(機構) ②について： ・ 鉱物資源の賦存状況に関する記載事項について、文献から得られる情報やその整理は概ね妥当。 ・ 収集した文献の鉱床位置などの記載は、各文献の引用文献も確認する。 ご指摘の点是对応済み。(機構) ③について：地熱については、文献から得られる情報やその整理は概ね妥当。
「第四紀の未固結堆積物」	2022年 7月22日	幡谷 竜太  電力中央研究所 サステナブルシステム 研究本部 研究部門長	①について：概ね妥当。 ②について：概ね妥当。 ③について： 概ね妥当ではあるが、抽出・整理した情報の中には資料作成者・論文執筆者の解釈が含まれていることを認識したうえで取り扱うとよい。 ご指摘の点是对応済み。(機構)
地形、 地質・地質構造	2022年 7月26日 8月31日 10月7日	竹内 誠  名古屋大学大学院 環境学研究科 教授	①について：概ね妥当。 ②について：概ね妥当ではあるが、地質・地質構造などの表記方法について、基本的にJIS規格への準拠などの検討が必要。 ご指摘の点是对応済み。(機構) ③について：概ね妥当。